

令和 8 年 7 月 28 日

令和 8 年度発生予察注意報第 2 号（概要版）

群馬県農業技術センター（病害虫防除所）

果樹カメムシ類 注意報を発表

- ・ 県内全域で果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）の発生が多くなることが予測されています。
- ・ 園地の見回りをこまめに行い、飛来や被害を確認した場合は速やかに防除を実施してください。

1 注意報の内容

- （１）注意が必要な病害虫：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）
- （２）注意が必要な作物：モモ、スモモ、ブドウ、
ナシ、リンゴ、
キウイフルーツ
- （３）注意が必要な地域：県内全域
- （４）予測される発生量：多い



写真 1 チャバネアオカメムシ成虫
体長 10～12 mm

2 防除対策

- （１）園地の見回りをこまめに行い、飛来や被害の早期発見に努めてください。
- （２）飛来や被害を確認した場合は、登録農薬により速やかに防除を実施してください。
- （３）多目的防災網を設置してある園では、速やかに展張してください。

3 防除上の留意点

- （１）飛来状況は園地によって異なります。必ず自身の園地で確認してください。
- （２）夜間の気温が高い日は飛来が増える可能性があるため注意してください。
- （３）袋掛けをしていても、果実が肥大して袋に密着すると、袋の上から吸汁加害される場合があるので注意してください。
- （４）多目的防災網の破損箇所や隙間は侵入口となるため、速やかに修繕してください。
- （５）夜行性であるため、薬剤防除は夕方または早朝に行うと効果的です。
- （６）過剰な薬剤防除は天敵を減少させ、ハダニ類等の発生を助長するおそれがあります。
薬剤防除は飛来や被害を確認後に実施してください。
- （７）農薬を使用する際は、必ず農薬のラベルに記載されている使用方法、注意事項等を確認して適正に使用してください。
- （８）他作物への飛散防止および周辺住民等への十分な配慮と事前周知を徹底してください。



4 発表の根拠

- (1) 県内 9 地点のうち 5 地点で、トラップ*への誘殺数が急増しています。(図 1～3)。
- (2) 平年と比較できる 6 地点のうち 4 地点で、誘殺数が平年の約 3～10 倍となっています(図 1～3)。
- (3) 沼田市の予察灯では、誘殺数が急増し、平年の約 4 倍となっています(図 4)。
- (4) 令和 8 年 1 月の越冬量は、平年の約 1.5 倍でした(データ省略)。
- (5) 今後 1 か月は気温が高く、果樹カメムシ類の活動、増殖に適した気象条件になると予報されています(7 月 23 日気象庁発表)。

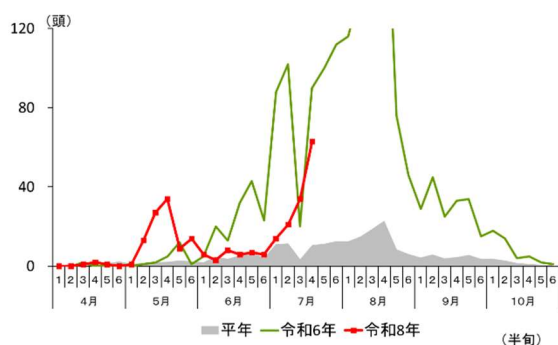


図 1 トラップ調査結果(高崎市箕郷町)

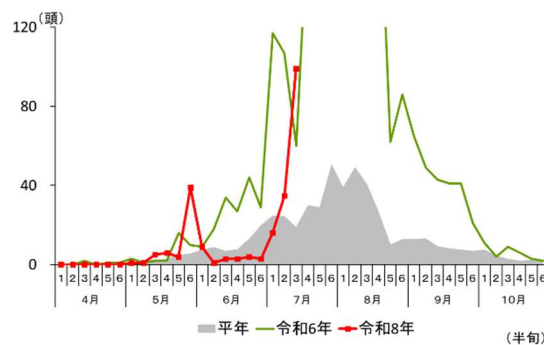


図 2 トラップ調査結果(渋川市横堀)

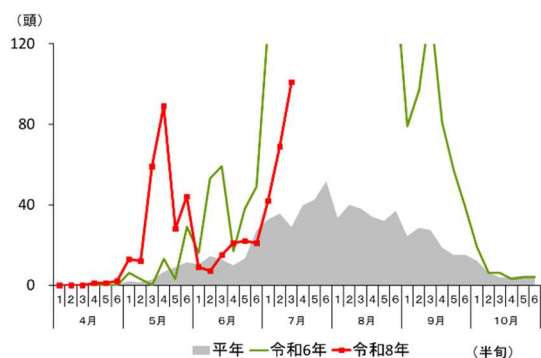


図 3 トラップ調査結果(中之条町折田)

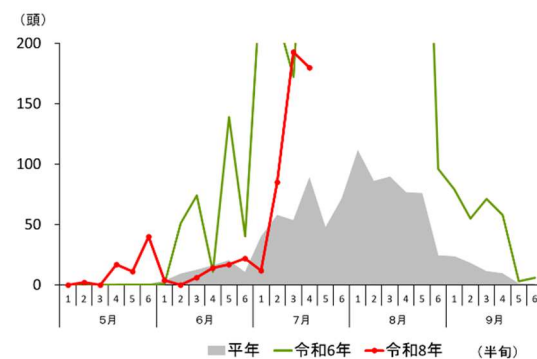


図 4 予察灯調査結果(沼田市井土上町)

【注釈】

* トラップ：今回の調査では、チャバネアオカメムシの集合フェロモンを利用したフェロモントラップを用いています。

【図 1～4 注意】

- (1) グラフの縦軸のスケールは、地点によって異なります。図 1、図 2、図 3 は 0～120。図 4 は 0～200。
- (2) 令和 6 年は、誘殺数が多いため、上記のスケールより多い時期があります。



詳しいトラップ調査結果は、二次元コードまたは下の URL からアクセスし、「令和 8 年各種トラップ調査結果」をクリックしてください。
チャバネアオカメムシの調査結果は、表示される PDF ファイルの 8～9 ページ目に掲載しています。

URL <https://www.pref.gunma.jp/page/20720.html>

お問い合わせ先：群馬県農業技術センター土壌・病害虫部発生予察係 TEL(0270)62-1059